

○議長（吉田敏郎）

日程第7 常任委員会所管事務調査の報告を行います。

この件につきましては、教育民生常任委員会から開成町議会会議規則第75条に基づく所管事務調査に係る報告書が提出されています。

委員長に報告を求めます。

教育民生常任委員会、石田史行委員長。

○教育民生常任委員長（石田史行）

それでは、報告をさせていただきます。

令和元年11月22日、開成町議会議長、吉田敏郎様、教育民生常任委員会委員長、石田史行。

教育民生常任委員会所管事務調査報告書。

本委員会の所管事務につき調査した結果を、開成町議会会議規則第75条の規定により次のとおり報告する。

1、調査の件名。図書室の現状と課題について。

2、調査の目的。開成町民センター図書室は、約4万冊の蔵書を備え、1日平均100冊ほどの貸し出しを行っている。令和2年度に現在工事を進めている新庁舎が完成した後は、町民センター及び保健センター内の事務室が新庁舎に移転することから、空きスペースの活用方法について庁内で検討を進めていると認識している。この点、議会での答弁によれば、令和2年12月のリニューアルオープンを目指し、開成町民センター内に（仮称）町民活動サポートセンターの設置に加えて図書機能の充実を図ることを方針として定め、具体的内容については令和2年度の予算編成時期までに詰めていくとのこととあります。そこで、本委員会としては、町民センター図書室の充実の方向性について調査研究を進めることとした。

3、調査の経過。第1回委員会開会日、令和元年6月13日、出欠状況、全員。第2回、令和元年7月11日、全員。第3回、令和元年10月4日、全員。第4回、令和元年10月18日、全員、出席を求めた説明員、随行者は、教育総務課長、主幹、主査。第5回、令和元年11月21日、全員。現地視察、10月4日、南足柄市立図書館、大磯町立図書館。

4、現状把握。まず、町民センター図書室の現状について、各委員が認識している課題が提起された。その主なものを記す。

蔵書のネット検索はできるが、ネット予約ができない。図書室の出入り口扉が重く、高齢者等にとって開閉が非常に不便である。閲覧スペースはあるが、学習スペースがない。読み聞かせのスペースは、図書室内に一応あるが狭い。大会議室がある3階に図書室があるというのは、静かな環境とは言えない。蔵書の数が少ない。

以上の課題認識を踏まえて、町民センター図書室の運用状況を詳細に把握するため、担当課である教育総務課から説明聴取を行った。また、あわせて近隣市町の取り組みを研究するため、南足柄市立図書館と大磯町立図書館の現地視察を行った。

まず、担当課の説明によれば、近年の運用状況としては、平成30年度、蔵書冊

数は4万2千441冊、うち児童用図書1万6千764冊、貸し出し登録者数は9千778人となっており、近年の傾向としては、除籍廃棄により蔵書冊数は若干減少したものの貸し出し登録者数は増加している、また、一般図書の貸し出し数が減少傾向にある一方で、児童書の貸し出しが大幅に増加しているとのことである。図書室に親しんでもらうため、月2回、子ども向けに本の読み聞かせ等も実施して、年間延べ123名の参加がある。

運営体制としては非常勤職員8名の輪番制をとっており、うち2名が司書免許を有しているとのことである。

図書室の出入り口扉の課題については、今後、改修を行い一定の改善を図ることであった。また、学習スペースの設置については、町民センター3階の視聴覚室(図書室倉庫)を改修し、学習室として設置する方向で進めたいとのことである。

5、検討結果のまとめ。本委員会では、「図書室の現状と課題について」を調査項目とし、5回の委員会を開催し協議を行った。その結果は次のとおりである。

視察先の南足柄市及び大磯町ではネット予約を行っており、総受け付け件数に占める割合が最も高い状況となっており、利用者の利便性を高める上でもネット予約を導入すべきである。社会教育委員会が図書室利用者へ行ったアンケート結果によれば、充実してほしいと思う項目として「蔵書数の増加」に次いで「幼児用スペース」と回答している。現在の読み聞かせスペースでは不十分であり、もっと気軽に親子が出入り、滞在できる常設の空間が必要である。

大磯町では、図書館の非常勤職員出身者が中心となって図書館ボランティアが結成され、現在はNPO法人として図書館業務をサポートしている。町民センター2階の事務室に町民活動サポートセンターが設置される予定であり、この機会を捉えて図書室業務をサポートするボランティアの育成を図るべきである。

「教育のまち・かいせい」を標榜する本町として、図書室に対する町民ニーズを適切に把握するよう努めるべきである。

6、提言。一つ、図書のネット予約の導入を検討されたい。一つ、幼児用あるいは児童向けスペースとして、親子、児童が気軽に立ち寄れる空間の整備を検討されたい。一つ、図書室業務をサポートするボランティアの育成を図られたい。

以上。

委員長、石田史行、副委員長、星野洋一、委員、武井正広、井上三史、山本研一、井上慎司。議長がオブザーバー出席いただきました。

以上であります。

○議長（吉田敏郎）

以上で日程第7 常任委員会所管事務調査の報告を終了とします。

以上をもちまして、12月定例会議に付議されました案件は全て終了いたしました。

これにて散会いたします。

大変お疲れさまでした。

午前 10 時 31 分 散会